

北海道地域福祉学会 2026年度

# 定例研究会のご案内

## 北海道における包括的支援体制の実装課題

小規模自治体・広域分散地域における重層的支援体制整備事業の可能性



本年度の定例研究会は、地域福祉実践者や行政・社協・地域包括支援センターなどの地域福祉推進機関の皆さまと共に、以下の3テーマに基づく情報交換とディスカッションを行いながら、北海道内における包括的な支援体制の実装に向けた視点や課題を整理します。



第1回

■ 住民相互のネットワーク・地域支え合い活動について

【住民組織化】



2026年7月29日（水） 18:00-20:00

第2回

■ 住民の社会福祉への参加、生きがいや役割創出について

【参加促進】



2026年10月26日（月） 18:00-20:00

第3回

■ 支援関係機関相互の連携やワンストップ体制について

【包括的な相談支援】



2027年1月18日（月） 18:00-20:00



定例研究会はオンライン開催です。参加にあたっては、各回事前の申し込みが必要です。また、参加者相互の情報交換とディスカッションを行いますので、参加者はカメラとマイク機能のある機材をご用意いただきますようお願い申し上げます。



### 各回参加費

会員 無料（当学会団体会員および日本地域福祉学会北海道会員を含む）

学生 無料（大学院生を含まない）

非会員 500円/人（同一組織で複数名参加の場合も1人ずつお申し込みが必要）

参加申し込みおよび研究会の詳細は右の二次元コードまたは当学会Webサイトをご確認ください。



申し込み

※各開催日の5日前までにお申し込みください。

主催：北海道地域福祉学会

共催：日本地域福祉学会北海道部会

後援（予定）：北海道、社会福祉法人北海道社会福祉協議会、一般社団法人Wellbe Design

# 本研究会のねらい

- わが国では都市部に人口が集中し、地方部の過疎化に拍車がかかっています。このような人口減少社会、その特徴が顕著である北海道においては、我々の暮らし（生活）、インフラ、人々のつながりの維持が危ぶまれている状況下にあるといえます。現代社会が抱える様々な課題の中で福祉に欠ける状態にある住民が発生しますが、地域にある多様な支援機関と住民等が連携した包括的な支援体制を築いていくことが急務になっています。
- 当学会では、北海道らしい包括的な支援体制の構築のあり方を見出す研究活動を実施するため、「過疎地域等における包括的な支援体制整備」に着目し、地域の互助機能や機能集約化アプローチによる包括的な支援等の研究を進めることになりました。
- 本年度の定例研究会では、北海道内の多様な包括的な支援体制に向けた実践活動を収集・分析するとともに、得られた知見を当学会会員や地域福祉活動推進機関に還元することを目的に開催します。



## 当日のプログラム

- 17:45-18:00 Zoom入室
- 18:00-18:15 開会・導入（各テーマの概要説明）
- 18:15-19:40 テーマに基づく意見交換
- 19:40-20:00 リフレクション

参加者それぞれが地域実践や課題等を持ちより、それらを交換しあうことで互いに見識を深めます。参加にあたっては地域実践や推進課題等をお持ちよりください。

## お問い合わせ

〒004-0022 札幌市厚別区厚別南2丁目7-28 一般社団法人Wellbe Design内

- 電話 011-801-7450
- メール [info@hacd.jp](mailto:info@hacd.jp)
- Webサイト <https://hacd.jp>

## 北海道地域福祉学会について

- 当学会は1992年に「市町村は地域福祉を担えるか」をテーマに開催された第6回日本地域福祉学会北海道大会を契機に1993年10月9日に創設し、以来、福祉・保健・医療のみならずNPO等の市民団体などの幅広い分野の会員と共に30年にわたる地域福祉研究を行ってきました。
- 北海道内外の地域福祉実践者や研究者など約100名が所属し、研究活動や機関紙「北海道地域福祉研究」の発行、地域福祉優秀実践賞の顕彰を行っています。
- 地域福祉にかかわる皆さまの入会を心よりお待ちしております。
- 会員種別ごとの権利等についてはWebサイトをご確認ください。

**年会費** 正会員個人5,000円 正会員団体10,000円  
賛助会員（個人・団体） 5,000円/口